



参加した皆さんで記念撮影



深く掘った穴に苗木を差し、丁寧に土をかぶせます

第9回植樹祭に350人が参加 森の恵みに感謝を込めて

5月10日、山田の海を守る会（会長・沼崎喜一町長）が主催する「山に広葉樹を植える運動」第9回植樹祭が開かれ、町内の森林愛護団体や海づくり少年団、漁協関係者など350人が参加しました。海との結び付きの強い森の必要性和大切さを再認識してもらおうと行われているもので、今回は織笠川の上流にあたる牧野にコナラとブナの苗木それぞれ400本を植樹。これまでの9回でこの場所に植えられた苗木はおよそ6,000本になります。参加した皆さんは豊かな恵みをもたらす森に感謝の気持ちを込めながら、丁寧に苗木を植えていました。

佐々木さんと阿部さんが100歳に 周囲から温かい祝福受ける

船越の佐々木キヨさん（明治42年5月8日生まれ）と織笠の阿部リチさん（同5月23日生まれ）が満100歳の誕生日を迎えました。5月4日、浪板観光ホテル（大槌町）で佐々木キヨさんの100歳を祝う会が開かれ、親族など40人が出席しました。会ではお孫さんたちから花束やプレゼントが贈られたほか、佐々木さんがバースデーケーキのろうそくを吹き消すと出席した皆さんから祝福の拍手が送られました。また、25日には沼崎喜一町長が介護老人保健施設シーサイドかる（近藤勝雄施設長）を訪問、阿部リチさんに「おめでとうございます。元気で長生きしてくださいね」と長寿祝い金を手渡しました。阿部さんは「ありがとうございます」と感謝の笑顔を見せ、お祝いに集まったご家族や施設の皆さんとともに長寿を祝いました。



元気でろうそくの火を吹き消す佐々木キヨさん



沼崎町長から阿部リチさんに長寿祝い金を手渡されました